

[13]延岡市小体連（学校数27校 児童数5531名）

【研究部のあゆみ】

1 研究主題

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための
資質・能力の基礎を育む体育科学習
～児童一人一人の思考力、判断力、表現力等を養う授業の創造と展開～

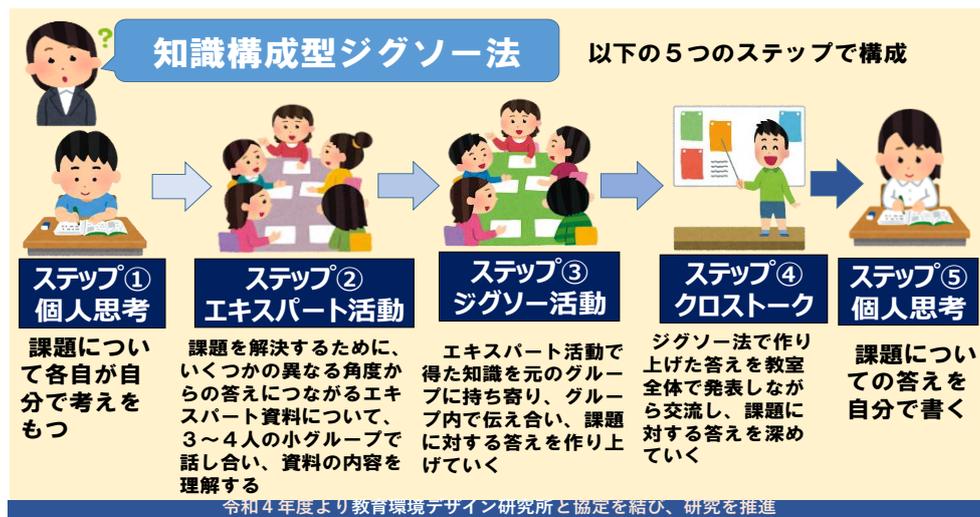
2 研究内容

- 研究内容①「知識構成型ジグソー法」を用いた体育科学習のあり方に関する研究
- 研究内容②「主体的で対話的な学び」を実現する授業づくり（つみかさねワークシート）
- 研究内容③「共生の視点」を生かした授業の展開（みんなが楽しい体育の土台チェックシート）

3 研究の実際

【研究内容①】「知識構成型ジグソー法」を用いた体育科学習のあり方に関する研究

① 知識構成型ジグソー法とは



○ 児童の思考力,判断力,表現力等の育成のために、知識構成型ジグソー法は有効であったか。

- ・ 様々な視点からチームに必要な作戦を考え、練習し、練習の結果からどの作戦が自分のチームに合っているかを深く考えていたため、知識構成型ジグソー法は有効であった。
- ・ 全員が自分の考えを話す必要があるため、話し合いが活発になっていた。
- ・ 児童が自分の課題に向き合い、解決に向かおうとする姿が見られた。
- ・ 話し合いや思考する場面も豊富にあったが、運動量も豊富にあり、過去の延岡市小体連の研究で挙げられた「運動量の減少」という課題を解決できていた。これは、エキスパート活動を前時までに行っておき、本時はジグソー活動から行うという流れにしたのがよかった。
- ・ 知識構成型ジグソー法を、1時間の中で完結させるのではなく複数時間に分けるという新しいかたちを見ることができ、体育科における知識構成型ジグソー法の可能性を感じた。
- ・ 児童の活動の中で危険な場面がなく、過去の延岡市小体連の研究で挙げられた安全性についての課題を解決できていた。

